

令和6年度 学校教育目標「しなやかで ともに学ぶ子 やりぬく子」

経営方針「三問を整え、東小オリジナルを創造する」



かがやけ光の子

函南町立東小学校
令和7年2月発行
第9号

【Final mission】

あいがどうを
伝え合おう

函南町立東小学校 松下 八十二

2025 年は暖かで穏やかな幕開けとなりました。冬休みが明け、令和6年度の残り 49 日が1月7日にスタートしました。正月から3月までは行事が多くこの時期は月日が早く流れる事ことから「一月往ぬる、二月逃げる、3月去る」と言われるように、あっという間に1月が終わってしまいました。学校では一年間のまとめと、進学・進級に向けての準備の段階に入ってきました。今年度は「楽しい学校」を掲げ、全職員で子供に寄り添い支援し取り組んできました。子供たちには一日一日を大切に充実した学校生活を送り、「楽しい学校」を実現してほしいと思います。子供たち一人一人が「楽しい学校」を実感できたら、3月19日(卒業式と修了式の日)にはきっと素晴らしいゴールを迎えることができると思います。



子供たちが素晴らしいゴールを迎えるためには、我々職員と保護者、そして地域の皆様の力が一つになることが必要です。保護者・地域の皆様の力をお借りして、地域の宝である子供たちが輝けるような学校を、2025 年も全職員一丸となり目指していききたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。

さて、年明け最初の朝会で、子供たちには二つのお願いをしました。

1つ目は「**学校を休まずに登校してほしい**」ということです。去年の暮れ、もうすぐ冬休みと言うときに校内ではインフルエンザが大流行し、終わりの二日間は100人を超える欠席者が出ました。そのため、子供たちには令和6年度の残りの日々を元気に登校してもらいたいという思いがあり話をしました。寒い中、毎朝グラウンドを走り体を鍛えている子もいますが、子供たちだけでは十分な健康管理ができません。子供たちが休まず毎日元気に登校できるよう、家庭でも健康管理に気をつけていただきたいと思います。

2つ目は「**明るいあいさつをする**」です。あいさつについての話は何度もしてきましたが、まだまだ「明るいあいさつ」には遠いように感じています。そこで朝会では、子供たちには「あいさつはさせるものではなく、自分からするものである。」という話をしました。また、生徒指導の新井先生もあいさつの話をしてくれたので、少しずつよくなっているように感じます。声を出すことで表情が緩むためか、毎朝、元気な声であいさつをしてくれる子の顔は、とても明るく生き生きと輝いて見えます。そんなあいさつをされるとこちらもとても嬉しくなり、一日のスタートに当たって元気をもらっています。だからあいさつは魔法の言葉と私は呼んでいます。子供たちには明るいあいさつでたくさんの人に魔法を掛け、元気にしてほしいと思います。また、子は親の鏡と言われるように、親が進んであいさつをしてくれると、子供も元気なあいさつをしてくれる傾向にあります。ぜひ、保護者の皆様が子供に手本を示してほしいと思います。また、家庭での朝の第一声はぜひ「おはよう」で始まる朝にしてほしいと思います。



子供たちへの二つのお願いは、保護者や地域の方の協力が必要です。子供たちが元気に登校し明るいあいさつが飛び交う元気な東小、地域であってほしいと願って、2025 年最初の朝会でお話しをさせてもらいました。

7.2.1
付